

第2回審議会における委員意見への対応方針

ご意見の概要		対応方針
目標指標について		
1	<p>【全体】</p> <p>現状値や目標値のデータの出典元を明らかにしてほしい。</p>	<p>・計画本文P21の目標指標及び目標値の一覧に記載します。</p>
2	<p>【食文化の伝承】</p> <p>食生活改善推進員の活動が盛んに行われている。その活動を拾い上げれば、目標値は現時点で達成できていると思う。</p>	<p>・当初は、既存データ(毎年度、農林水産省からの依頼により取りまとめを行っている、「食育月間」及び「食育の日」等の市町村の取組実績報告)から該当する取組を集計し、現状値としていました。</p> <p>・より県全体の実態に即した数値を把握するため、改めて市町村及び食育推進協議会構成員に照会しましたので、その集計値を現状値として取扱います。</p>
3	<p>【農泊】</p> <p>評価の対象者が県外者とインバウンドが主となる。食育の目標なので、もう少し幅広に捉える必要があるのではないかな。</p> <p>「発信」に関する内容であり、県民に対する理解・継承とは異なると思う。</p>	<p>・農泊に関する目標指標は削除し、農泊で行う郷土食や農業に関する体験について、評価対象者が「県民」となることを想定して再考しました。</p> <p>・郷土食の伝承については、目標指標 No.7 ですすでに網羅されており、農業体験については第3次食育推進計画の目標指標として達成済みで、現在も学校現場で取組が定着しています。</p> <p>・このため、新たな数値目標は設定せずに、引き続き取組を継続します。</p>
4	<p>【主食・主菜・副菜を組み合わせた食事】</p> <p>「バランスの良い食事」などの表現の方がわかりやすいのではないかな。</p>	<p>・データの出典元となる国の調査においても、目標指標の項目と同様な表現をしていることや、「バランスの良い食事」の捉え方が個人によって異なることがないよう、具体的に記載した元の表現とします。</p>